

優秀演題選考結果

一般演題応募 126演題 (優秀演題選考対象 124演題)

カテゴリー (テーマ)	演題数
1. 審査委員会 (事務局業務を含む)	7
2. 実施体制の整備	15
3. 院内調整・チーム医療	10
4. CRC・CRA業務の工夫	17
5. 被験者対応・保護	2
6. 品質管理・品質マネジメント	24
7. モニタリング・監査・査察	9
8. 治験/臨床試験調整事務局業務・プロジェクトマネジメント	2
9. 教育・育成	16
10. 治験・臨床研究の啓発活動	2
11. 専門領域 (がん、小児、精神、救急など)	5
12. 臨床研究・トランスレーショナルリサーチ	1
13. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 対応関連	5
14. 臨床試験と患者・市民参画	2
15. その他	9

最優秀演題賞

ポスター番号	演題名／発表者氏名 (敬称略)	選考理由
P-013	<p>はじめての再生医療等製品 (ウイルス製剤) 治験 ～ウチでも実施できる!～</p> <p>奈良県立医科大学附属病院 島津 光希</p>	<p>今後増えることが予想される先進的な製剤の治験において、GCPだけでなく、広範な法や規制、感染対策等をも念頭に、CRCが中心となり、新たなマニュアル作成や他部署等との調整という『あるべき姿』を『しなやかに』体現しており、他の医療機関の参考となる。また、膨大な作業を部門や担当ごとに整理、役割を明確にし、実施体制を構築した様子がわかりやすくまとめられている。</p>

優秀演題賞

ポスター 番号	演題名／発表者氏名（敬称略）	選考理由
P-055	<p>「治験業務マニュアル」を用いた品質管理向上作戦：SMOのCRCと共同で取り組んだ継続的な治験業務改善活動</p> <p>堺市立総合医療センター 臨床研究推進室 西村 加奈子</p>	<p>QMSを生かした治験の品質向上への取組みとしてPDCAの活用は少なくないが、本研究ではPDCに加え、マニュアル改訂や教育等“A”がしっかり行われ“サイクルを回すことの大切さ”が実践されている点で優れている。また、ポスターの構成も色と配置を巧みに使い分け、大変見やすい構成である。</p>
P-095	<p>OJTプログラムに基づく評価シートを使用した教育プログラムの導入の評価</p> <p>地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 臨床研究推進センター 義平 祥菜</p>	<p>教育は評価が難しいテーマの一つだが、OJT目標達成率のグラフ化及び経時的な変化の明示は、入職者・教育担当者双方が成長を実感し、モチベーションアップにつながることを期待される。「OJTプログラムに基づく評価シート」の導入に難しさを感じている医療機関やSMOにとって大変参考になる内容と思われる。</p>

特別賞

ポスター 番号	演題名／発表者氏名 (敬称略)	選考理由
P-049	<p>「未来のきみへ 新しい薬をみんなに届けてくれ てありがとう」を作成して</p> <p>福山市民病院 臨床研究部 臨床研究治験管理室 上原 宏美</p>	<p>被験者やその家族に感謝の気持ちを持ちつつも、 治験終了後に十分な情報提供ができていないこと が多い中、本研究は更に難しい小児を対象とした 取り組みで、親しみやすい冊子の作成・配布に 加え、その結果を分析している。 こうした取り組みは今後、社会における治験への 理解を得る上で非常に有益である。</p>
P-119	<p>より理解しやすい同意説明文書 作成に向けたCRCによる同意説 明文書案のレビュー</p> <p>日本たばこ産業株式会社 医薬事業部 臨床開発部 見谷 駿治</p>	<p>より理解しやすい説明文書の作成は組織の枠組み を超えた大きな議論も行われているが、一方で 本研究のように小さなグループによる取り組みも、 速やか、かつ、フレキシブルな改善につながり、 大変有用である。ポスターは議論の流れが明確で わかりやすく示され、一貫性のある内容である。</p>

優秀演題選考委員

区分	所属	氏名
1. 医療機関に所属するCRC又は 治験事務局の経験が豊富な者	一般社団法人 浜松市薬剤師会	(委員長) 鈴木 千恵子
	独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター	石山 薫
	医療法人社団 慶幸会 ピーワングリニック	守田 由美
2. SMOに所属するCRC又は 治験事務局の経験が豊富な者	株式会社 アイロム	佐々木 智子
3. 製薬企業もしくは医療機器企業 に所属し、モニター等の経験が 豊富な者	塩野義製薬	田村 典朗
	エーザイ株式会社	矢内 恵子
4. CROに所属し、モニター等の 経験が豊富な者	IQVIA	片岡 睦国
5. 上記以外の治験に関わる者 (医師、IRB委員、報道関係者等)	京都薬科大学 客員教授	北澤 京子